

## 理由書〔様式〕

## 1. 理由書が必要とされた指標

複数の指標について理由書が必要とされている場合には、下記 2 及び 3 については、全ての指標について説明が可能なものとするよう留意。

## 2. 現状についての説明

理由書が必要とされた指標について、何故一時的にそのような状況にあるのか（背景）を説明。なお、その背景の説明について損益計算書や貸借対照表と整合性がとれているかを確認すること。

〔記載例〕

- ・新たな店舗のため、不動産購入を行ったことから、短期借入金が増え、流動負債が増加した。
- ・今回の公園事業とは別途展開している不動産業務において、不動産の価値が大幅に減少したことから、純資産が減少し、自己資本率が一時的に減少した。

## 3. 今後の事業について

理由書が必要とされた指標について、今後業績が回復する見込みがあることを説明する内容。なお、その説明について事業計画書や融資証明書等との整合性がとれているかを確認すること。

〔記載例〕

今後、新たな店舗展開により %の収益増加を見込んでいるところであるとともに、既存のホテルでは、日帰り入浴の受入れや 等、既存の事業についても営業努力を続けて行く予定であり、業務は回復させていく。なお、これらの事業計画については、別途 銀行と相談しており、その上で、 銀行より 万円の融資を受けることとなっている。

所属団体

株式会社

代表者名

代表取締役

印

申請者の所属団体・代表者名を記載